

吉田一四政策提案

「変革 そして未来への約束」

合併後１２年、合併の負の要素を和らげる目的で合併特例債を利用した大型事業を積極的に実施してきました。

次期４年間はその事業の効果を享受したうえで、合併本来の目的である

「スリムで効率的な自治体への転換」が必要な次節となります。

そのような中で、合併特例債事業等の継承と、次世代への変革、そして未来への展開を政策提案します。

① 合併特例債事業の総仕上げ

新庁舎の整備

災害時の防災拠点としての機能を備え、そして日常においては、住民の方々に
とって便利で親しまれる庁舎として整備していきます。

消防体制の整備

昼間救急のみの体制であった加美区・八千代区について、その機能を強化し救
急・消防の２４時間体制を整備します。

中央公民館改修

加美・八千代のコミュニティプラザは公民館機能と生涯学習機能を合わせた施設
として整備しました。中区においても老朽した中央公民館の根本的な対策を検討し
ます。

これらの、大型事業を完成させ、住民の皆様へのサービス向上を図ります。

② 行政システムの効率化

下水道施設の統合整理や新たなごみ処理施設の建設等、必要不可欠な社会インフ
ラを効率的に運用して、行政経費の圧縮を図ります。

③ 民間活力の活用

財政健全化の一翼として「民でできるものは民へ」と、行政サービスの産業化を
めざし行政をスリム化します。

④ 地域産業の育成と企業誘致

多可町における、3つの発祥の地の内の山田錦発祥の地として、山田錦販売拡大活動をみのり農協と共に展開してまいりました。この様に地域に根差した産業を育成し、生産者の収益向上を目指す事業をより一層進めてまいります。

また、多可町商工会と共に企業誘致や既存企業への支援、そして若者の起業の応援を通じて、産業構造を活性化することも努力してまいります。

⑤ 元気な村づくりが人づくり

鍛冶屋の集落役員として12年間集落のお世話をさせていただいた経験から、集落活動の重要性も身をもって感じております。

厳しい財政の中で、より効果的な集落支援として、自治組織の方々と一丸になった施策を展開し、「少なくなった子供たちをみんなで大切に育てる」少子高齢化を逆手に取った集落活動を支援します。

⑥ 医療福祉水準の確保

少子高齢化の影響を最も受ける、医療福祉問題は国・県の政策に頼るところが多く制度の変革も多々あります。そこで、これらの医療・福祉サービスを確実に皆様の手元に届けるため、職員のスキルや組織体制を強化します。

これらに加え、真っ白な気持ちを持って、皆さんの話を聞いて歩く活動を精一杯行います。そしてこれを通じてその声を行政に生かし「安全・安心・快適を実感できるまち」を目指してまいります。

学歴 鳥取大学工学部 54卒
取得資格 1級土木施工管理技士・測量士
宅地建物取引主任者・防災士
職歴 昭和54年 総合建設業 入社
昭和63年 中町役場 就職
平成17年 多可町図書館長
平成25年 理事兼防災監

